

省エネ型漁船の開発

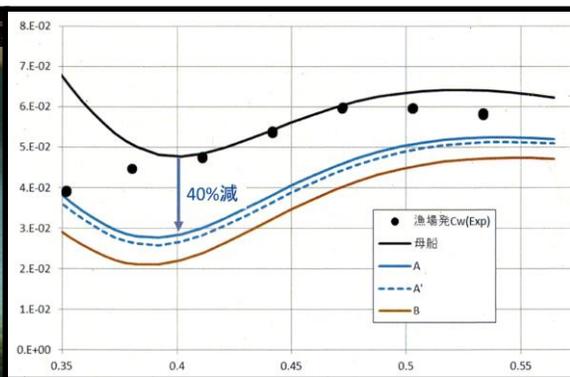
技術の概要

漁船の線形は燃費の面からは必ずしも効率的ではないことが多く、少しの工夫により燃費の大幅な改善が見込まれることがある。本研究から流体解析や模型実験により船首バルブ、船尾付加物、船尾幅の絞り込みにより燃費改善が行えることが分かった。



期待される効果

基本的な船型を変えることなく、船首バルブ、船尾付加物、船首幅の絞り込み等を行うことで、通常航海の設計速力(10.5kt)における**エンジンの必要馬力を約30%削減**できることが分かった。また**船型自体のリニューアルを行う**ことにより、移動条件によっては**40%程度の馬力削減効果**が見込まれることが分かった。模型試験からも船回りの波が減少していることが確認された。



写真、図 船型改良による定置網漁船の抵抗削減結果

【お問い合わせ先】

国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産工学研究所
田丸修 Tel: 0479-44-5950, Mail: otamaru@affrc.go.jp

当該技術は農林水産省委託事業「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」の成果です。